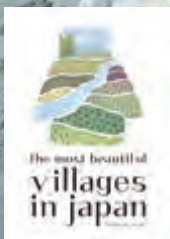


広報 ⊕  
No.748  
令和 8 年

# いいたて 6

[www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)



今月の話題

まだいな庭づくりが作り出す花景色も飯館村の大きな魅力



裏山に続く庭でたくさんの植物を育てている長正文子さん。夫の秀芳さんも庭づくりを手伝います。春から夏へ、緑が清々しい季節になりました。



まだいな庭づくりにうっとり 初夏の飯館村が、緑と花に彩られています

水仙、桜、ハナモモなどが一斉に咲き誇った春が過ぎ、緑豊かな季節がやってきました。村民の皆さんが庭先や畑で育てる花々も美しく、村中が鮮やかに彩られています。大きな写真は、長正文子さん(大久保・外内)の庭。季節ごとにたくさんの花が咲いています。春にはオオヤマザクラ、レンギョウ、ハナモモなど。現在はポピーやジャーマンアイリスが咲いていて、これからはバラの季節を迎えるそうです。帰村後、畑に花を植えたのが始まりで、たくさんの種類の花を咲かせるようになりました。近くを通る皆さんも、季節ごとの花景色を楽しみにしています。

下の写真は、右端が、佐藤幸夫さん(関根松塚)のポピー畑。真ん中が、桑折町の小野孝明さんが関沢地区に整備した関沢あやめ園「結GARDEN」。左端が、5月中旬に見頃を迎えていた「大火山つじの森」のヤマツツジです。花の季節を追いかけて、皆さんも村内めぐりを、ぜひ楽しんでみてください。

目次 CONTENTS

- 03 話題「初夏の花景色」
- 04 特集1「村民の森あいの沢」
- 10 特集2「飯館村の2026農業」
- 14 学びの広場「いいたてっ子運動会」
- 16 空から百景「いいたてパークゴルフ場」
- 18 ほけんとふくし「いいたて村健康ポイント」
- 19 消防飯館分署から「高機能消防指令施設を更新」
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 26 村からお知らせInformation / 5月のできごと
- 28 いいたて20行政区 vol.2深谷行政区
- 29 いいたて今昔物語 / ふれ愛館だより
- 30 暮らしの耳より情報「新しい防災気象情報」 / いいたてPHOTOリレー
- 31 愛楽故郷味 / ひとのうごき
- 32 ほっとNEWS ほか

7月から『ひみつ基地どきどき』の利用時間が変わります

時間の幅が広がります!

「ふかや風の子広場」の屋内遊び場『ひみつ基地どきどき』の利用時間が変更になります。これまで入れ替え時間に間隔を設けて、遊具の消毒などを行ってきましたが、今後は、利用時間内にスタッフが適宜消毒などを行うこととし、利用時間の幅を広げます。

■ 休館日 毎週水曜日、年末年始

■ 利用時間

午後の時間が変わるから気をつけてね!

6月30日(火)まで

- 第1部 午前10時～正午
- 第2部 午後1時～2時30分
- 第3部 午後3時～午後4時

7月2日(木)から

- 第1部 午前10時～正午
- 第2部 午後1時30分～午後4時



これからもたくさん遊びに来てくださいね!  
※広場の屋外公園は全日開放しています。

問 産業振興課商工観光係 ☎0244-42-1620

📷 村中で田植えが進められていた5月。厳しい暑さの中、二枚橋地区の水田で、作業をしていた飯館村振興公社の職員さんに出会いました。今年是一段と担う面積が広がって、大忙しの毎日。職員さん同士が連絡を取り合い、連携して作業を進めていました。広がる農地。稲が生育した時の風景がいっそう楽しみです。

村はイベントや取り組み取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613までお知らせください。

# 村民の森あいの沢

水辺と緑に憩いココロとカラダをリフレッシュ!

ため池を中心に整備された面積約50haの公園です。雄大な自然に囲まれ、のんびり過ごしてリフレッシュしませんか。緑陰が美しい遊歩道は、みかげ石に“愛の句”を刻んだ「あいの句碑」も並んでいて、言葉との出会いも楽しめます。

# 村民の森あいの沢

水辺と緑に癒いココロとカラダをリフレッシュ!



## きこりにて、結婚式が開かれました



三浦さんの趣味のマラソンで登場した2人。森の式場へゴールをしながら入場です。

5月4日、宿泊体験館きこりで、三浦有矢さん・大槻美友さん(草野)の結婚式が開かれました。村で出会い、居を構えて、結ばれた2人。「村内の施設で式を行いたい」という願いに、きこりのスタッフが応えました。

新郎新婦とウェディングプランナーが挙式や披露宴を企画。挙式は水辺の高台で、披露宴はきこりのコンベンションホールで行われました。

笑顔いっぱいの楽しい挙式に、新郎新婦も出席者も大満足。「森の中での挙式、思い出がたくさんできました。飯館の自然の魅力も伝えられたかな」と大槻さん。三浦さんは「村の人とのつながりがあってこそこの今日。これからもつながりを大切にしたい」と話しました。

披露宴では飯館産黒毛和牛のローストビーフなど、きこりのシェフが、地元の食材を生かして腕を振るいました。

## RELAXATION&BEAUTY YURANAオープン!

入浴施設のホール内に、ヘッドマッサージのお店がオープンしました。きこりでの営業日は、第2・第4金・土・日曜日で、時間は午前10時～午後6時30分最終受付(※金曜日は～午後4時最終受付)。オーナーの佐藤好美さん(上飯桶)の施術で、頭・首・肩のマッサージが受けられます。予約は公式LINEもしくは電話(☎070-8699-3585)で。福島市内の施設では、「よもぎ蒸し」やフェイシャルの施術も行っているそう。



左側のパーテーション内がYURANAのスペース。

佐藤さん



公式LINE



Instagram



## 民家園ふるさと

古民家を移築した建物。さまざまなイベントに活用されています。

午前8時30分～午後5時

個人 大人(中学生以上) 1日300円/子ども(小学生以下) 1日200円

団体 1組・4時間未満2,500円/1組・4時間以上5,000円

予約は管理棟☎0244-42-0511(電話受付午前9時～午後4時)まで。

## 農業研修館さらり

村で新規就農を希望する人が滞り、就農研修ができるよう、研修室・宿泊室を整備しています。

研修室30人収容

宿泊室(バス・トイレ付) 5室・27人収容

自炊室、ランドリー室完備

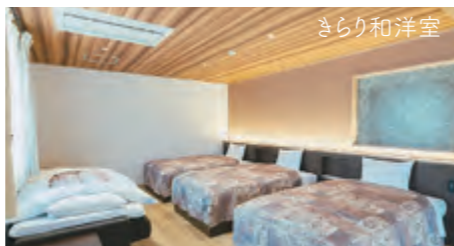


農業研修についてのお問い合わせは

問 産業振興課農政係 ☎0244-42-1621



研修室



さらり和洋室

施設利用・宿泊についてのお問い合わせは

問 宿泊体験館きこり ☎0244-42-1012 ※電話受付午前9時～午後6時



## 宿泊体験館きこり

緑の森にたたずむ宿泊施設。「トゴール鉱石」を使った入浴施設は、日帰り入浴もOK! 癒やしの音楽とアロマの香りに包まれる岩盤浴、ワーケーションや会議、イベント開催にぴったりのスペースも。

### QRコード決済もOK

QRコード決済、クレジットカード決済などの決済サービスが利用できます。

### 村民宿泊割引も!

きこりのHPから申請書をダウンロードし、ご記入の上で提出ください。

### 食事付きプランが充実!



日帰り昼食休憩プラン 食事の一例  
5名以上/3,300円～

食事と入浴がセットになった日帰り昼食休憩プランの他、慶事や法要のプランもあります。オプションの特別料理も充実し、予算に応じた相談にも対応。



食事付き宿泊特別プラン 夕食の一例

### 日帰り入浴

午前10時～午後8時

※最終受付午後7時30分

大人(中学生以上) 1回500円

子ども(小学生) 1回300円

乳児・幼児 無料

### 岩盤浴(イオラ)※入浴込

午前10時30分～午後5時25分

※最終受付午後4時30分

大人(中学生以上) 1日1回1,100円

### 宿泊

食事付きプラン9,900円～1万4,850円

素泊まり6,600円～

※1室あたりの宿泊人数による料金UPあり

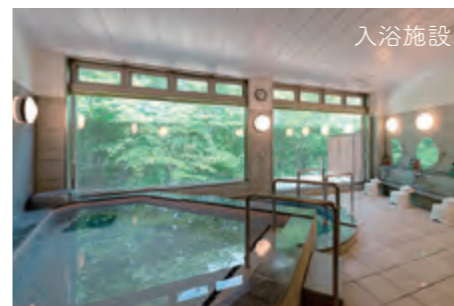
※子ども料金あり

### 軽食堂やまぼうし

午前11時～午後2時

問 宿泊体験館きこり ☎0244-42-1012

※電話受付午前9時～午後6時



入浴施設



岩盤浴(イオラ)



本館宿泊棟洋室



本館離れ客室

離れの1棟はペット同伴可です。

飯舘村商工会青年部主催の

## SLOW CAMP

スローキャンプ

5月3日・4日、あいの沢キャンプ場のフリーサイトをメイン会場に、飯舘村商工会青年部主催のキャンプイベント「SLOW CAMP」が開催されました。会場には遊具が設置され、ドリンクや菓子の販売が行われた他、事前予約で「飯舘産バーベキューセット」も販売され、キャンパーの人気を集めました。また、地形を活かした岩登りのボルダリングイベントも開催され、多くの親子が楽しみました。



のんびりゆったり雰囲気「SLOW CAMP」の醍醐味。フリーサイトに仲よく、参加者のテントが並びました。

愛好家グループがコースづくり

### 親子で挑戦! 岩登りボルダリング



「SLOW CAMP」の特典として開催されたボルダリング体験会。自然の岩(外岩)に登るイベントに、たくさんの親子が挑戦しました。



岩登りのルールやコツを教わりながら、どんどん登る子ども達。さまざまな形の岩にトライして、コツをつかんでいきました。初めての岩登りを体験した小学生は「めっちゃめっちゃ楽しい!」と目を輝かせていました。村には冬の真野川のアイスクライミングスポット(通称真野川アイス)もあり、クライミング愛好家の注目を集めています。

マリオもスポット(補助者)です。



齋藤 暁さん

齋藤暁(あきら)さん(伊達市)は、自然の岩に登るボルダリングの愛好家。あいの沢の巨石群の可能性に着目し、コースづくりを目指して調査をしています。「今回初めて公開したルート。楽しい岩があって、キャンプができて、お風呂があって、道の駅も近くて、静かなのに便利。ここは通年楽しめる場所だと思います。全国に広めて有名にしていきたいですね。」



専用の靴を履いて登ります。足元にはマットを敷き、スポット(補助者)がサポートしています。

早速広島県から訪れたルートセッターと交流する齋藤さん。「主要道路からのアクセスが素晴らしい。岩もとても面白い」との感想ににっこり。



## あいの沢キャンプ場

緑の木立に囲まれ、週末ごとに多くのキャンパーでにぎわう『あいの沢キャンプ場』。15区画のオートキャンプ場に加え、広々としたフリーサイトも人気で、手ぶらでもキャンプができるレンタル用品も整っています(数に限りがあるため予約がおすすめ)。また、ほとんどの方が宿泊体験館きこりの入浴施設を利用しますが、管理棟のシャワー(1回12分100円)も使えます。

令和7年の利用者数は、のべ3181人でした。SNSの口コミをきっかけに訪れる人も多く、今年の春はますます利用者が増えているそうです。幹線道路からわずか1km、車で10分程度の場所に道の駅やドラッグストアがあるというアクセスのよさも人気のポイント。しかも静かで、豊かな自然が体感でき、晴れた夜には満天の星空に包まれます。焚き火がはげると音に耳を澄ませ、漆黒の夜空に煌めく星々と語る、極上のキャンプ時間を。

■ オートキャンプ場(電源付き・炊事場あり)

1泊1サイト2,000円/日帰り1,000円

■ フリーサイト(イベント広場)

1泊1張500円/日帰り1人100円

■ チェックイン午後1時~午後5時/

チェックアウト午前10時

※日帰りでの利用は午前9時~午後4時

■ ペット同伴可(リードを着用の上)

問 管理棟 ☎0244-42-0511

※電話受付午前9時~午後4時

### 森の案内人とあいの沢を歩こう!

あいの沢キャンプ場の管理人で「森の案内人」でもある佐藤英信さんが、あいの沢を案内します。「あいの沢の自然を、より楽しんでもらえるよう、森の案内人として、この取り組みを始めました」と佐藤さん。「草花や木の種類、そしてそれらがどんな物に加工されているか、活用されているかなどを紹介しながら散策しています」。左の写真は、5月4日の散策の様子。今後はひと月に1回程度の定期開催を予定しています。開催日などはインスタグラム(@iitate\_kikori\_ainosawa)でお知らせします。左のQRコードからどうぞ。



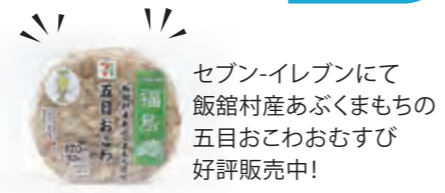
Instagram



### 水稻の作付け進む あぶくまもちも生産拡大へ

営農を再開する水田は年々拡大していて、飯館村振興公社、13区営農組合をはじめ、さまざまな営農団体や農業法人、あるいは個人が担い手となり、食用米(うるち米・もち米・酒米など)、飼料用米の栽培に取り組んでいます。小さな苗がやさしく揺れる水田の広がり、担い手の皆さんの挑戦の軌跡そのものです。

01 水稻



セブン-イレブンにて飯館村産あぶくまもちの五目おこわおむすび好評販売中!

#### 献穀米

全国から選ばれた生産者が、厳格な管理の元で生産し、皇室に献上する特別な米です。



青田豊実さん(前田)

飯館村あぶくまもち生産組合の組合長として、発足以来、生産拡大に力を尽くしている青田さん。

「里山のつぶ」も栽培しており、今年は献穀米の生産者としても栽培に取り組みます。



5月14日、あぶくまもち種子圃場の田植え。

### 児童と園児の田植え体験



森永さん

高橋教育長

ボランティアの皆さん

いいたて希望の里学園の前期課程の児童と、まていの里のこども園の年長児が、前田・八和木地区の水田で、あぶくまもちの田植えを体験しました。

子ども達が作業をしやすいよう、この水田の持ち主で管理に協力する森永正男さん(前田・八和木)が、圃場を整え迎えてくれました。子ども達は、青々とした苗を手に取り、すじ引きされた田に丁寧に植えていきました。上級生は、毎年の経験を生かして、スムーズに作業。下級生を助けたり、コツを教えたりしていました。

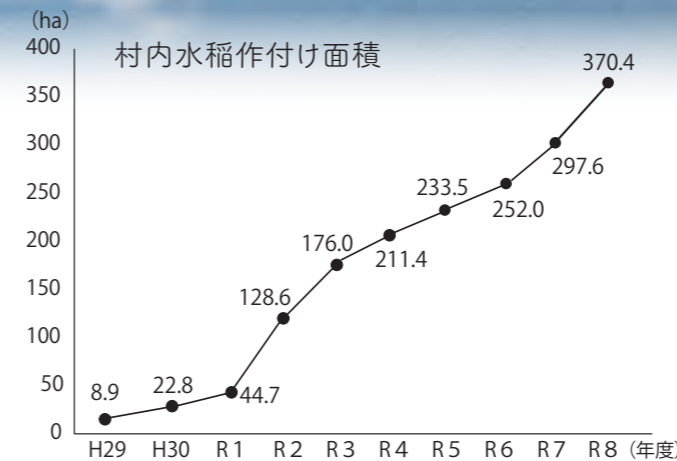
活動の最後に、代表児童が「農業の大変さがわかりました。大変だけど、とても楽しい」と感想を発表。多くの人の協力に感謝を伝えました。森永さん、村民ボランティアの皆さん、温かなご協力をありがとうございました。



# 2026 飯館村の農業

村民の皆さんと団体の皆さんに企業も加わり挑戦は続く!

田植えの季節になりました



令和8年水稻作付け

主食用米 202.83ha(加工用、輸出米等を含む)

WCS用米 51.49ha(WCS=稲発酵粗飼料)

飼料用米 115.86ha

酒米 0.22ha

合計 370.39ha

令和8年5月26日現在

### この春の農のトピックを皆さんにお知らせします

5月、村内各地で田植えが進みました。今年の水稲の作付け面積は、5月28日時点のとりまとめで約370ヘクタールとなっています。作付けされた水稻の品種は、「里山のつぶ」「天のつぶ」の他、「コシヒカリ」「ひとめぼれ」「ヒメノモチ」「こがねもち」「あぶくまもち」、飼料用米の「ふくひびき」と多品種にわたっています。震災による農業の中断、さらには除染により、手をかけてきた肥沃な土壌を失い、農業は大きく後退しました。マイナスからのスタートを余儀なくされたあの時、現在のような状況を、誰が想像できたでしょう。多くの人のたゆまぬ努力の証が、この田園風景です。農地は一步一步、着実に広がっています。このページでは、この春の農のトピックを、いくつかまとめて紹介します。

昨年、一部で営農を再開した長泥地区では、その拡大を目指して、さまざまな取り組みが進められています。

環境省による復興再生土壌の再生利用事業で工事がされている農地、第2～第4工区のうち、第4工区は令和7年度に村や地権者に返還され、農作物の安全性を確認する試験栽培を終えています。また第2・第3工区は今年度末に返還される予定で、第1工区は来年度以降に環境省が農地造成に着手する予定です。



第4工区、緑肥となる麦の畑。

今年度は、第4工区で、米と野菜の実証栽培、緑肥となる麦の栽培を行います。また、第2・第3工区では、米と野菜の試験栽培及び実証栽培を行います(第4工区と同様の工法で造成された農地であるため期間が短縮されています)。これらの事業における農作業は、村と県が主体となって、地区の営農組合と協力しながら実施するものです。今年度の試験栽培・実証栽培で基準をクリアし、これまでの結果と合わせて、来年度に出荷制限が解除されることを目指しています。

力を合わせて  
一歩一歩  
可能性を  
広げています

2026 長泥地区の農業

先行して試験栽培・実証栽培を終え、昨年営農を再開した庄司喜一さん(長泥/右写真の右から2人目)の圃場では、5月22日に、2年目の田植えが行われました。手伝いに集まった皆さんと共に、25.2aの圃場に「里山のつづ」の田植えを行った庄司さん。「役場や農協、環境省の方など、いろいろな人が関わっている、そんな田んぼになりました」と笑顔で話していました。秋に収穫する米は、全量全袋検査を経て市場へ出荷し、自家用米にもする予定です。妻の光子さんが、手伝いの皆さん、見学の皆さんに、手製のおむすびを振る舞いました。

庄司さん営農再開2年目の田植え



各工区でも田植えを行いました

同じく22日に、第2・第3・第4工区でも実証栽培のための田植えが行われました。第2工区の田植えでは、地区の皆さんが、手植えで補植も行いました。



広菜の花畑が

前田・八和木地区に、今年も美しい菜の花畑が現れました。「11区営農組合」(今野茂之組合長)が栽培する菜の花の圃場で、栽培面積は全体で13.3ha。写真は、渡邊文夫さん(前田・八和木)の農地(3.1ha)です。「村の補助を受け、営農組合で協力して育てています。飯館村の特産品になるくらい育ってくれたらうれしい」と渡邊さん。収穫したナタネは、二本松市や南相馬市に出荷し、出荷先で菜種油などに加工されます。



シャクヤク「レッドチャーム」の圃場にて、勉強会の様子。右から2人目が顧問で講師の北原さん。北原さんは約60aの圃場でさまざまな品種のシャクヤクを栽培しています。

飯館花卉協議会の勉強会

02  
かき  
花卉

4月に発足した「飯館花卉協議会」(西川徳(いさお)会長/宮内)が、年間事業計画に従い、5月11日、栃木県那須塩原市で花卉を栽培する北原彰さん(宮内)の農場で、勉強会を開催しました(協議会の発足についてはP25の記事をご覧ください)。北原さんは震災直後から約15年間、花卉栽培に取り組んでいて、蓄積してきた経験や知識を活かして、村の花卉産業に貢献したいと考えています。事務所で開かれた勉強会では、これまでの実践を踏まえ、「付加価値の高い品目を振興し、村の主力商品にできれば」と、花卉の再興に向け提案しました。この日の勉強会には生産者の他、JA職員、村職員などが参加。さらに圃場では、シャクヤクを中心に、出荷時期を見極める「切り前」や株作り、品種などについて学び、ハウスでは、トルコギキョウの土壌消毒も見学しました。



03 ブランド牛の復活を目指して

畜産  
現在、11経営体が、村内で黒毛和牛の繁殖・肥育に取り組んでいます。また、株式会社ゆーとぴあは、畜産と精肉店の二刀流で、村の畜産に活気をもたらしています。震災前に「飯館牛」として売り出していたブランド牛の基準をどのように再定義して復活させるか、生産者の皆さんに、村や県も加わって、意見交換を続けています。

ブランド牛

特定の地域で厳しい基準のもと飼育された牛肉の総称。風土や飼育方法による味の違いが楽しめます。

野菜を生産する企業の進出



野菜の生産に取り組む人も増えていて、付加価値の高いおいしい野菜を、道の駅の直売所や、それぞれの出荷先に出荷し評価を得ています。

04  
野菜

また、複数の企業や農業法人が、村内で野菜の栽培に取り組んでいます。

昨年村で起業した、やさいファーム株式会社(丸山輝也代表)は、コマツナ、サトイモ、サツマイモなどの露路栽培からスタートし、この春、白石地区に、大型のハウスを建設しました。このハウスには今後、太陽光電池で電力をまかなうヒートポンプと蓄電池が設置され、冬でも野菜がとれるようになるそうです。「飯館村での仕事はとても楽しい」と言う丸山代表。「年間を通して野菜が生産できる全国初の施設になります。キュウリは年間40tの出荷量を目指します」と話していました。現在、従業員の休憩所を整備中で、収穫作業などで働いていただける方を募集していくそうです。



いたてっ子運動会



スローガン

つかみとれ! 仲間とつなぐ 勝利のバトン



引いたカードの指示で変身!



かっぱいのかっこ、かっこいい!



運営には上級生が大活躍!



サッカー選手

ミニーマウス

フラガール



自作の道具で神旗争奪戦



増田園長先生から金メダル



1~9年生がバトンをつなぐ「いたてっ子リレー」



15 広報いたて 令和8年6月号



までの里のこども園の3歳以上の園児と、いたて希望の里学園の全児童生徒が、心を一つに、運動会で躍動しました。出場種目はもちろんのこと、係の仕事も全力で。下級生を思いやり、仲間のピンチに声を掛ける...そうした姿に、強い絆も感じられました。なんて素敵ないたてっ子!会場を訪れた家族や地域の皆さんが笑顔いっぱい、声援を送りました。



「みんなでのう給水タイム」で水分補給!



観覧の皆さんも全員参加の競技「お宝・ゲット!」

天然芝の緑が色濃くなりました。練習に大会に、多くの皆さんにご利用をいただいている「いいたてパークゴルフ場」です。村民はもとより、他の市町村からも、愛好家の皆さんが訪れます。遠くに山並みを眺めながら、18ホールのコースで、のびのびとプレー。健康的な笑顔が輝きます。駐車場や管理棟も完備しています。

消防飯館分署より

## 高機能消防指令施設の更新事業が完了しました



高機能消防指令施設は、相馬市・南相馬市・新地町・飯館村からの119番通報を受信すると、発信者の場所を地図に表示し、災害地点の特定、災害内容に応じた出動車両の編成を行うと共に、安全・確実・迅速な出動指令を出すことができます。また、救急車や消防車の車両端末装置には、出動指令と併せて災害現場までの最短ルートが送信され、案内を行うことで、災害現場までの到着時間を短縮させ、被害の軽減や救急搬送された方の社会復帰率向上を図っています。

詳しくは、相馬地方広域消防本部ホームページ内【お知らせ】をご覧ください。  
[http://soma-119.planet.bindcloud.jp/oshirase\\_index.html](http://soma-119.planet.bindcloud.jp/oshirase_index.html)

相馬地方広域消防本部では、相馬地方の119番通報を一括受信する高機能消防指令施設を平成27年より運用してきましたが、老朽化に伴い更新時期を迎えたため、最新技術を備えた新高機能消防指令施設に更新し、令和8年4月1日より運用を開始しました。



問 相馬地方広域消防本部警防課  
 ☎0244-22-4165

飯館村消防団

## 消防技術を競う大会出場に向けて ポンプ車操法訓練を行っています



素早く正確な動作で、ポンプ車による放水を行います。厳しい暑さの中でもキビキビと、本番さながらの練習が続きました。

7月26日に相馬市の「日立木カントリーエレベーター」で開催される「第46回福島県消防操法相馬地方大会」に、飯館村消防団を代表し、第2分団が出場します。5月10日、大会に出場する選手の皆さんが、南相馬消防署飯館分署の南側駐車場で、大会に向けた練習を開始しました。この練習は、大会本番まで、毎週日曜日に行われます。選手皆さん、体につけて、頑張ってください！

始めてみませんか？

## いいたて村健康ポイント



「いいたて村健康ポイント事業」は、自身で健康づくりの目標を立て実践する事業です。ポイントを達成した方には、村から達成者カードと賞品をプレゼントします。ポイント達成を目指し、日々の健康づくりを始めてみませんか？

### 参加方法

#### ステップ1

「いいたて村健康ポイント事業台紙」を健康福祉課健康係の窓口で受け取り、台紙に自分が取り組む健康目標を記入し、日々実践します。

#### ステップ2

健康目標の達成、地域活動への参加、社会参加、健康診査の受診などで、ポイントを集めます。

#### ステップ3

合計が3000ポイント以上になったら、達成した台紙を健康福祉課健康係へお持ちください。村から、ポイントに合わせたカードと賞品をお渡しします。



ふくしま健民カード

カードは獲得ポイントに応じて、色がランクアップしていきます。ランクアップごとに村から賞品をお渡しします。

賞品例 ごはんのカロリーがわかる茶碗、まてい館商品券など

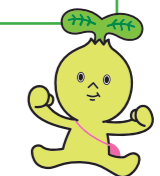
### 1年後、今より健康でいたいですね！

今日の行動が1年後の自分をつくります。

毎日何を食べて、どのくらい運動するかによって、1年後の自分が変わってきます。「健康づくりは明日から」ではなく「思い立ったが吉日」です。早速、今日からできることを始めましょう！  
 また、健康管理のため、1年に1回は健康診査を受けましょう。



今年度から「ふくしま健民アプリ」が新しくなりました。詳しくは同封のチラシをご覧ください。



問 健康福祉課健康係(いちばん館内)  
 ☎0244-42-1637



5月8日に来庁した皆さん。杉岡村長が「村を感じ、楽しみながら、実習に取り組んでほしい」と歓迎。

## 相馬看護専門学校が村で実習 地域に寄り添う看護を学ぶ

5月8日・12日・14日の3日間、相馬看護専門学校の学生が、村内で実習を行いました。

同校は、飯館村と相馬市・南相馬市・新地町の2市1町1村で構成する「相馬地方広域市町村圏組合」が設立した公立の看護師養成校で、村内での実習は令和5年度から実施されています。

初日の8日には、実習生の皆さんが杉岡村長と懇談。代表学生が「地域の生活課題に向き合い、他職種との連携について学びたい。また、相手の立場に立って実習に取り組みたい」と抱負を述べました。



締結式の会場で、署名を終えた協定書を手に。左から菅野会長、杉岡村長、加藤統括部長。

## 東急不動産株式会社と 地域連携協定を締結

飯館村、東急不動産株式会社、飯館村総合振興計画推進協議会の3者が、村役場にて5月12日、地域連携協定を締結しました。この協定に基づき、3者は相互の特性を活かし、ゼロカーボン事業、地域産業の振興、観光の振興、人材育成などで連携します。

締結式には、杉岡村長、東急不動産株式会社環境エネルギー事業本部環境エネルギー事業第二部の加藤佳郎統括部長、飯館村総合振興計画推進協議会の菅野宗夫会長(佐須)が出席しました。



新たに固定資産評価審査委員の辞令を受けた須田さん(左)と鹿山さん(右)。どうぞよろしくお願ひします。

## 固定資産評価審査委員 新委員に辞令を交付

5月11日、村役場で、固定資産評価審査委員の辞令交付式を行いました。

式では、杉岡村長が、須田幸正さん(小宮)、鹿山あや子さん(深谷)に、固定資産評価審査委員の辞令を交付。新委員のお二人が、「固定資産の評価について学びながら、少しでも役に立てるよう取り組んでいきたい」などと意気込みを述べました。

今後は、現委員の林英滋さん(白石)を含む3人の委員が、固定資産評価に対する申し立てについて、中立的な立場から審査を行います。

## いいたてスポーツ公園で 『からだ作り教室』を開催!

4月25日に、いいたてスポーツ公園で開催した『からだ作り教室』。佐藤こゆる先生(南相馬市)を講師に、9人の参加者が、バランスボールを使った運動を体験しました。

青空が広がり、風も穏やか。爽やかな天候に恵まれました。佐藤先生の話術でテンポよく、音楽に合わせたリズムカルな運動を、皆さんが笑顔で楽しみました。「体の調子よくなりました」「定期的に教室を開催してほしい」といううれしい感想も。第2回は7月4日に開催予定。皆さんもぜひご参加ください。



青空の下、人工芝が広がる「にここ広場」で心地よく運動!

## 『春日部藤まつり』に出展 笑顔の交流で村をPR

4月26日、埼玉県春日部市の『第45回春日部藤まつり』に出展しました。村は、春日部市と40年程前から交流があり、震災の折には、たくさんのご支援をいただきました。ブース出展には、ニコニコ菅野農園(宮内)、村カフェ753(深谷)、飯館村商工会も参加。村出身で春日部市職員の佐藤修さん、震災時に派遣職員として村に在籍した鹿沼市職員の橋本浩一さんも、応援に駆け付けてくださいました。物販の他、観光パンフレットなどを活用して来場した皆さんと交流し、村をPRしました。



約1.1km続く藤棚が美しい花のトンネルに。会場の「ふじ通り」には、たくさんの方が訪れました。

## 『結・ゆい・フェスタ2026』 国際交流の催しに出展

5月3日、福島市の「まちなか広場」で開催された『結・ゆい・フェスタ2026』に出展しました。

このイベントは、国際交流と多文化共生がテーマ。世界各国の文化体験ができる催しで、福島市国際交流協会の主催です。

村は、国際色豊かな会場で、朝採れの野菜や花、あぶくまもちの甘酒などを販売。資料を配布し、村の魅力もPRしました。また、村を拠点に活動する「福島もも娘」も、村のブースに駆け付け、来場者と交流しました。



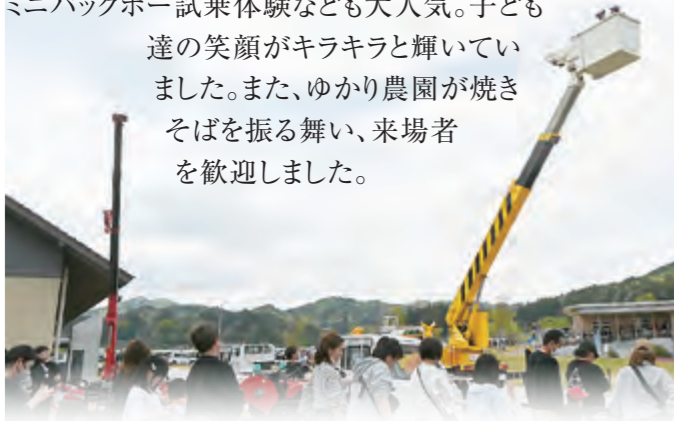
甘酒の試飲も大好評。「飯館村の皆さんですか。こんなに頑張っているんですね」と声をかけてくださる方も。

## 子ども達の笑顔キラキラ 『はたらくクルマ大集合!』

5月3日、いたて村の道の駅までい館で、はたらくクルマ大集合実行委員会(早川健一委員長/宮内)主催の『はたらくクルマ大集合!』が開催され、たくさんの家族連れでにぎわいました。村内企業が力を合わせ、南相馬警察署、消防飯館分署も協力。早川委員長は、大盛況の会場で、「帰省する人が多い連休に、普段は間近で見られない重機や農業機械を展示しました。私個人としても、避難から15年目によく故郷のために行動ができてうれしいです」と話していました。会場には、大型車両や警察・消防車両がずらりと並び、高所作業車乗車体験、ミニバックホー試乗体験なども大人気。子ども



達の笑顔がキラキラと輝いていました。また、ゆかり農園が焼きそばを振る舞い、来場者を歓迎しました。



## 『第5回ワクワクマルシェ2026』もりの駅まごころがにぎわいました

5月5日、「もりの駅まごころ」を会場に『第5回ワクワクマルシェ2026』が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

今回のテーマは「大人のこどもの日」。村内事業者が自慢の逸品を販売した他、「飯館村のおかあさん達」の料理を味わう「ごちそうバイキング」、ナツハゼやゆずのドリンク、えごま茶が並んだ「村のドリンクバー」、飯館産黒毛和牛の屋外バーベキューなどの企画でおもてなし。福島大学大黒ゼミの学生による「柏もちづくり」や「兜(かぶと)づくり」のワークショップも開かれて、会場は、来場者の笑顔と笑い声に包まれていました。



## 綿津見神社で住民がボランティア

4月25日、宮内老人会(北原経会長)と宮内女性の会(北原澄子会長)の2団体が合同で、綿津見神社の環境整備ボランティアを行いました。当日は、両会から23人が参加し、境内や参道の落ち葉拾い、草刈りの他、駐車場の花壇の整備に取り組みました。参加者は互いに声を掛け合いながら、和やかに作業。多田仁彦宮司が「見違えるほどきれいにしていただき、ありがとうございます」と感謝を伝えました。



## 『食を考える会』が総会 & 交流会

4月21日、「飯館村食を考える会」が、マデイズカフェ(小宮)で、令和8年度の総会と、交流会を開催しました。

総会では、菅野一代会長(比曾)が、「村民の健康のために、バランスのよい食事と減塩を普及していきましょう」とあいさつ。続いて今年度の活動計画などを協議しました。

交流会では、杉岡村長の代理で出席した中川副村長も交えて、会食をしながら和やかに意見を交わしました。



## 工房マートル 移転リニューアル2周年イベント

キャンドル作家・大槻美友さんのアトリエショップ『工房マートル』(草野)が、4月29日に、移転リニューアル2周年記念イベント『minimal vappu in iitate village(ミニマルヴァップ イン イイタテビレッジ)』を開催しました。

この日は、村内の美味しいものも店頭並び、近隣市町村からはコーヒー、スイーツ、生花などを扱う選りすぐりのショップが出店。店舗の駐車場にもブースが並びました。さらには田村市の絵本専門店「石川屋」による絵本の講座や読み聞かせも行われ、会場は終日、多くの人でにぎわいました。



## 4月に発足した「飯館花卉協議会」が来庁 杉岡村長と懇談しました

4月1日に発足した「飯館花卉協議会」が、村役場を訪れ、村長と懇談。協議会の趣旨などを説明し、意見を交わしました。

同協議会は、飯館村の花弁生産技術の向上や生産者の所得向上を目指して、講習会、研修会などの事業を行っていきます。また、県や村、JAとの連携を図り、村全体の花卉生産の振興に資することを目的としています。

この日は、会長の西川徳(いさお)さん(宮内)、副会長兼会計の佐藤照子さん(比叢)、顧問及び相談役の北原彰さん(宮内)が来庁。JAふくしま未来からは、営農経済担当常務の西幸夫さん(八木沢・芦原)、飯館営農センター長の川井智洋さん(二枚橋・須萱)、飯館営農センター職員の菅野朋宏さんも同席し、今後に向けた取り組みについて、意見を交わしました。

また、避難先の栃木県那須塩原市で花卉生産に取り組む北原さんが、栽培するカンパニュラの花束を持参し、村に贈りました。



## きこりで開催!『ごきげん対談コンサート』

5月16日、発達心理学と声楽を組み合わせた『第4回ごきげん対談コンサート』が、宿泊体験館きこりで開催されました。主催は任意団体の「ごきげんソサエティー」。声楽家の馬場由香先生と発達心理学者の今岡多恵先生が、ライブステージに応じた対人関係をテーマに対談しました。また、対談の中で、馬場先生が、やさしくかつ迫力ある歌声で歌を披露。今岡先生が、歌詞に込められた“人とのつながり”を、発達心理学の視点から解説しました。フィナーレには、参加者も一緒に、「川の流れのように」を歌い、会場が和やかな笑顔に包まれました。



特製のスコーンと温かな飲み物で交流する場面も。参加者はリラックスして観覧し、心癒される時間を過ごしていました。



## 「飯館村相馬流山踊保存事業」東日本鉄道文化財団が支援事業に採択

公益財団法人東日本鉄道文化財団の「地方文化事業支援」に、『飯館村相馬流山踊保存事業』が採択されました。

5月15日に、交流センター「ふれ愛館」で、同支援の承認書贈呈式が行われました。式には、保存会の中川ひろみ会長(宮内)と高橋スイ子副会長(小宮)が出席し、見事な踊りも披露しました。

同文化財団の日野正夫理事長が、災害やコロナ禍を乗り越えての継承活動に敬意を伝え、中川会長が、「ご支援とご厚意を励みに、これからも継承に力を尽くしたい」と感謝を述べました。



支援は陣笠の購入や舞踊の講習に活用します。



昨年の相馬野馬追では式典で踊りを披露しました。



5月3日開催の「飯樋四区復興祭」にも出演。

## 婦人会が美化活動ボランティア

5月9日、飯館村婦人会(長谷川花子会長/前田)が美化活動を実施しました。

この日の活動には12人が参加し、交流センター「ふれ愛館」前から村役場までの道路沿いとセンター地区周辺で、ごみ拾いを行いました。

婦人会の皆さんは、環境美化のボランティアの他、地域のためのさまざまな活動を行っていて、会員を随時募集しています。応募の連絡は長谷川会長 ☎090-6250-6748まで。



## いいたて球場で女子野球大会

4月25日、いいたて球場で、読売巨人軍主催「第4回女子野球GIANTS杯・福島大会2026」の1回戦、2試合が実施されました。

作新学院高校(栃木県)対東海大付属静岡翔洋高校(静岡県)、学法石川高校(福島県)対新潟医療福祉大学(新潟県)の2試合で、声援の中、選手達が全力プレーで熱戦を繰り広げました。決勝戦は28日に県営あづま球場(福島市)で行われ、仙台大学(宮城県)が初優勝を飾りました。



令和8年度  
総合健康診査について

震災以降、村の健診は、福島県の「県民健康調査」と併せて実施しています。

村に住民票があり、今年度16歳になる方から89歳になる方を対象に、5月下旬に、「村の総合健康診査のお知らせ」をお送りしました。各自でご確認をお願いいたします。

90歳以上の方で村の健診を希望される方、85歳以上で村の集団健診の大腸がん検診を希望される方については、個別に郵送します。健康福祉課健康係までご連絡ください。

健康福祉課健康係  
☎0244(42)1637

風しん抗体検査・予防接種の料金を全額助成します

妊婦が風しんウイルスに感染すると、生まれてくる赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。妊婦や周囲

にいる人が風しんウイルスに感染しないよう、予防をすることが大切です。

村では、左記の方を対象に、風しん抗体検査と予防接種の料金を全額助成します。活用を希望される方は、事前に健康福祉課健康係までお申し込みください。

対象者

- 1 妊娠を予定または希望している女性(妊娠中は予防接種を受けられません)
  - 2 妊娠している女性の夫(婚姻関係は問いません)
  - 3 妊娠を希望している女性の夫(婚姻関係は問いません)
- ※いずれも飯館村に住民票がある方が対象です。  
※今までに抗体検査を受けて抗体が基準以上あった方、予防接種を2回受けたことが確実な方、風しんウイルスに感染したことがある方は対象外です。

助成の内容

助成期間  
令和8年4月1日から  
令和9年3月31日まで  
自己負担 なし

接種場所

村が指定する医療機関  
申込方法

検査・接種希望日の1週間前までに健康福祉課健康係にお申し込みください。医療機関への直接の申し込みはできませんのでご注意ください。

健康福祉課健康係

☎0244(42)1637

令和8年度外灯・防犯灯  
設置補助制度のお知らせ

生活環境の整備及び犯罪の防止を図るため、外灯・防犯灯を設置しようとする個人・団体を対象に、設置費用の半額を補助します。

対象者

自らの地区や住宅敷地付近の村道、または公道に外灯・防犯灯を設置しようとする個人及び団体

補助の内容

設置費用の半額(最大4万円)  
※維持管理経費は設置者が負担

住民課住民係

☎0244(42)1618

狩猟免許取得に係る  
経費の一部を補助します

村は、今年度新たに狩猟免許を取得する方を対象に、免許取得経費の一部を補助します。詳しくは産業振興課農政係までお問い合わせください。  
なお、今年度の試験日等は左記をご覧ください。

試験日	会場	受付期間	区分
第1回 8月8日(土)	会津若松市アピオスペース	6月8日(月)~7月10日(金)	全種
第2回 9月5日(土)	富岡町文化交流センター学びの森	7月6日(月)~8月7日(金)	全種
第3回 10月4日(日)	郡山市労働福祉会館	8月3日(月)~9月4日(金)	全種

※狩猟免許の種類 ▶ 網猟、わな猟、第一種銃猟、第二種銃猟

産業振興課農政係 ☎0244-42-1625

福島県相双地方振興局 ☎0244-26-1144

飯館村選管に県選管委員長表彰

飯館村選挙管理委員会(伊東利委員長/関沢/写真左)が、県選挙管理委員会委員長表彰を受けました。「第27回参議院議員通常選挙」における適正な管理執行と選挙啓発推進が評価されたものです。表彰は4月27日、高橋和司相双地方振興局長(写真右)から伊東委員長に伝達されました。表彰状を役場住民課前に掲示しています。来庁の際にぜひご覧ください。



赤石澤傳さん瑞宝単光章を受章

赤石澤傳さん(飯樋町)が、春の叙勲で瑞宝単光章を受章し、報告のため5月25日に来庁しました。赤石澤さんは昭和57年から43年間にわたり飯館村消防団に所属し、令和2年からの5年間は団長として団を率いました。今回は令和3年の藍綬褒章に続く2度目の受章です。赤石澤さんは関係者に感謝し、「何より家族の協力があり継続ができた」と消防団活動を振り返りました。



5月の村の動きと主なできごと

- 3日・「結・ゆい・フェスタ」出展(福島市)
- 5日・「春日部大凧あげ祭り」参加(埼玉県春日部市)
- 8日・12日・14日・相馬看護専門学校 村内実習(村役場・いちばん館他)
- 11日・第2回 飯館村総合振興計画推進協議会(村役場)
- 12日・固定資産評価審査委員辞令交付式及び第1回固定資産評価審査委員会(村役場)
- 12日・いいたて希望の里学園・までの里のこども園 田植え体験(前田・八和木地区)
- 12日・飯館村・東急不動産株式会社・飯館村総合振興計画推進協議会 地域連携協定締結式(村役場)
- 13日・第1回文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 15日・公益財団法人東日本鉄道文化財団地方文化事業支援「飯館村相馬流山踊保存事業実行委員会」承認書贈呈式(交流センター「ふれ愛館」)
- 16日・いいたてつ子運動会(いいたて希望の里学園校庭)
- 17日・「東北移住&つながりフェア2026」出展(東京都千代田区・東京交通会館)
- 18日・ふくしま田園中核都市圏第1回首長会議(福島市キョウワグループテルサホール)
- 19日・臨時議会(議場)
- 20日・農業委員会定例総会(村役場)
- 20日・第1回学校運営協議会(村役場)
- 21日・「帰還困難区域を抱える町村の協議会」要望活動(東京都)
- 21日・美しい村づくり推進審議会視察研修(長野県茅野市)
- 25日・定例教育委員会(村役場)
- 26日・防犯指導隊委嘱状交付式(村役場)
- 28日・高橋キヨ子さん 百歳賀寿
- 31日・守時タツミく景色の見える音楽会(交流センター「ふれ愛館」)

## 2区 深谷行政区

飯館村を形つくる個性豊かな20行政区を連載で紹介！

vol.2

地区を貫く県道12号原町川俣線沿いに農地が広がり、それを縁取るように住宅が連なる深谷地区。農業が盛んで、住民活動も活発な地域です。

地区の東端に位置する「作見の井戸」は、寒の期間に水深を測り、作柄を占う井戸。伝承では江戸時代から存在し、昭和55年に地区の有志が、鳥居や祠を設けて整備しました。また、「村民の森あいの沢」は、かつての人々が石を切り出し水路や林道を築いた場所。その環境を活かして整備され、昭和54年に開園しました。キャンプ場、民家園、宿泊体験館きこり、あいの浮き橋、愛の句碑などが点在する広大な公園です。近隣に、平成19年に直売所としてオープンした「もりの駅まごころ」も、優れた農産品が人気を博しまし



震災前は的中率の高さがメディアでも取り上げられた「作見の井戸」。(平成19年1月)



長年、幼稚園のもちつき会に協力。全村避難中、仮設幼稚園にて。(平成26年12月)

た。あいの沢の施設は、震災の影響を受け休園しましたが、順次再開し、全体としてより魅力的なエリアになるよう再整備が進められています。震災後は地区中央に、道の駅を核とする深谷復興拠点エリアが整備され、村のにぎわいの中心となっています。また、74年余りの歴史を刻んだ相馬農業高等学校飯館校が令和5年に閉校し、その跡地を含むエリアで、深谷産業団地が造成されています。



大切な農地が深谷復興拠点エリアに活かされました。(令和4年)



美しい田園風景が復活。左上には解体前の相農飯館校。(令和6年)

深谷行政区(2区)  
区民数247人(令和8年5月1日現在/住基人口)

昨年から交流事業を拡大しました。区の皆さんと集まりパークゴルフとバーベキューを楽しんでいます。若い世代の皆さんにもできるだけ参加をもらって、意見を活発に取り入れていきたいですね。現在造成されている産業団地に働く場所ができて、若い人が増加することも期待しています。また、飯館村振興公社が担い手となり、地区内全ての水田で農業が再開されました。緑豊かな田園風景が、さらに広がります。



齋藤照吉区長



平成

湖畔の桜が舞う中で開催された「第16回スポーツ少年団対抗はやま湖駅伝競走大会」。(平成18年)



令和

花火大会は避難指示が解除された平成29年に復活しました。写真は令和7年の「はやま湖まつり」。

## はやま湖の今と昔

さまざまな場所や暮らしの変化を見てみよう。

## いいたて今昔物語

70周年 村制施行



昭和



平成

昭和58年建立の真野ダム記念碑。ダム建設時の思いが碑文に綴られています。

ダム建設の適地であるとして3度目のダム計画が浮上したのは昭和45年のこと。住民は反対運動の後に、「真野ダム対策同盟会」を組織して県との交渉を進め、昭和52年に協定書、55年に補償協定書に調印しました。昭和56年には水没移転者離村式が行われ、人々は子ども達の歌「ダムに沈む大倉の里によせて」に涙し、別れを惜しまました。多目的ダム「真野ダム」は、昭和60年に本体工事が始まり、平成3年に完成。周辺に体育館や橋が整備され、ダム湖は「はやま湖」と命名されました。湖畔に桜が植えられ、「森と湖のまつり」「スポーツ少年団対抗はやま湖駅伝競走大会」「はやま湖花火大会」など多彩なイベントが催され、地域に愛される名所となっていきました。



## ふれ愛館だより

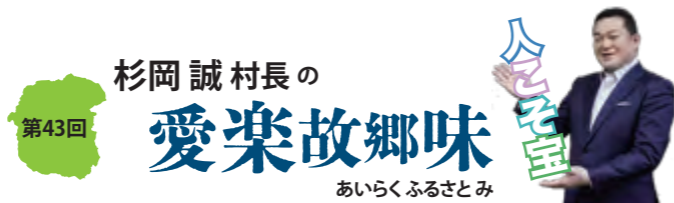
交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

今年度も飯館村図書ボランティアの方々のご協力をいただき、交流センター「ふれ愛館」内の図書整理や季節に合わせた壁面の掲示などを行っています。また、こども園や学校でのおはなし会、図書貸し出しの要請があった各地区のサロンへの貸し出し、いいたてクリニックへの貸し出しなどを行いながら、皆さんが本に触れる機会が少しでも増えるように取り組んでいきたいと思えます。ぜひ、交流センター「ふれ愛館」にも足を運んでみてください。

お詫びと訂正  
広報いいたて4月号P12と同5月号P6に掲載した第7次総合振興計画の文言に一部誤りがありました。お詫びして訂正します。

正 地域福祉 ともに気づき、支え合う地域福祉の実現を目指します

緑輝く5月の飯館村を  
担い手の活躍が彩りました



「美わしく清らかな村」を皆で富ませてまいりましょう。

こうして「ふるさと」の担い手の皆様これまでのご功労が讃えられることに深い喜びを味わいます。手と手を取り合い、ともに励み、

宝単光章の叙勲のご報告をいただきました。誠にありがとうございます。

そして、この村制施行70周年という節目の年に、赤石澤傳さんの瑞

また月末には相馬野馬追を拝観しましたが、過ごしやすいい候

で、例年より多くの方々がお越しの中、本年も飯館村から騎馬武者

が出演され、その勇姿を見届けさせていただきました。

年々、注目度が増してきている相馬野馬追。来年は子ども園、学園

の子どもたちや親御さんにも見せてあげられたらと思います。

また、村制施行70周年のテーマでもある「感謝と喜びをともにする」

ことに繋がるものと、大変嬉しく、感慨深く拝聴いたしました。

さらに今年はいいたて希望の里学園の先生が現代風にアレンジさ

れたという村民歌「夢大らかに」が流れており、驚かされました。

伝統ある村民歌にこのように新たな命が吹き込まれていくことも

また、村制施行70周年のテーマでもある「感謝と喜びをともにする」

ことに繋がるものと、大変嬉しく、感慨深く拝聴いたしました。

いいたての山々が緑輝く五月。  
村では多くの「ふるさと」の担い手の皆様による様々なイベントが  
開催されました。

大雷神社式年大祭にあわせて開催された「飯樋四区復興祭」は、  
多くの皆様笑顔で邂逅する素敵な場となっております。

地元の皆様による素晴らしい演目が多数披露される中、とりわけ  
伝統芸能にはその細やかな気遣い、息遣いに目を見張るとともに堪  
能させていただきました。こうした伝統芸能の継承もまた、地域のコ  
ミュニティの維持や村民相互の繋がりに資する掛け替えのない「ふる  
さと資源」なのだ、改めて感じさせていただきました。

また、五月といえば「いいたてつ子運動会」。心地よい晴天のもと、子  
ども達の輝く笑顔や懸命な様に、飯館村の希望であり宝である子ど  
も達の成長のほどを実感しました。

■ひとのうごき

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 春雄 さん	65	大倉
川村 昭一 さん	87	草野
山田 トシ子 さん	95	伊丹沢
庄司 克子 さん	70	深谷
伊藤 八重子 さん	97	上飯樋
三坂 喜佐重 さん	68	飯樋町
今野 トクエ さん	94	蕨平
大内 清忠 さん	95	佐須



ひとのうごき 令和8年5月1日現在

人口	今月(前月比)	4月1日~30日までの人口動態
●男	2,194人(-3)	転入 9人
●女	2,103人(-6)	転出 13人
計	4,297人(-9)	出生 0人
世帯数	1,781戸(-3)	死亡 5人
		(住民基本台帳人口)

ご冥福をお祈り申し上げます

(4月16日から5月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

暮らしの耳より情報 ③新しい「防災気象情報」の運用がスタートしました

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	早期注意情報			

災害発生の可能性が極めて高く、自治体から「緊急安全確保」が発表されるような状況

災害の危険性が非常に高まり、自治体から「避難指示」が発表されるような状況

災害発生のおそれ。「高齢者等避難」が発表されるような状況

避難の方法を確認する段階

最新の情報に注意する段階

気象庁・国土交通省が発表する「防災気象情報」の名称や体系が再編され、5月28日から運用が始まりました。自治体はこの新たな情報などを元に、住民に避難の情報を発表します。レベル5の「特別警報」が出される状況では、避難場所への移動がかえって危険な場合もあり、「特別警報」が出る前に、身の安全を確保することが重要です。雨の季節が近づいています。いざという時にどう行動するか、事前に考え、ご家族で話し合うなどして備えましょう!

皆さんが広報委員！

いいいたて PHOTO リレー

月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。

テーマは「村の生活」  
～案山子(かかし)づくり～

撮影者 佐藤英信さん(草野)



「自宅の庭に自作の案山子を設置しています。作り続けて現在は7体目になりました」。ユニークなデザインの案山子の写真を提供くださったのは、あいの沢キャンプ場で管理人を務める佐藤英信さん。「自分はもともと村の出身で、県外で働いていたUターン移住者なんです。都会での暮らしは確かに便利でしたが、離れたからこそ、この場所の魅力に気づくことができました。“なにもない”からこそ、自分のやりたいと思うことに、自由に取り組むことができる。案山子を作ったり、ピザ窯を作ったり、いろいろ挑戦しています。この村で手に入れた、自由で楽しい暮らしを共有することで、多くの人にこの村のよさが伝わればうれしいです」。満ち足りた笑顔を浮かべて、自身の活動を紹介してくれました。

7月号 6/15締切	例えば…「梅雨」「父の日」「アジサイ」「ジュンブライド」をテーマに。	8月号 7/17締切	例えば…「七夕」「海」「夏休み」「夏野菜」をテーマに。
---------------	------------------------------------	---------------	-----------------------------

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考します。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 報酬 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613

〈大雷神社式年大祭〉〈飯樋四区復興祭〉が開催されました



5月3日、大雷神社で、3年に1度の式年大祭が行われました。規模を縮小しての開催でしたが、村内外から多くの人が訪れ、久しぶりの再会を喜ぶ声や笑顔があふれました。

これに合わせ、『飯樋四区復興祭』が同実行委員会主催で催され、伝統芸能やバンド演奏、カラオケ大会などが、境内の特設会場で行われました。脈々と続く伝統と、住民の思いが重なり合い、ふるさとの祭りには大きな盛り上がりを見せました。



自然観察会

モリアオガエルのたまごを探しに行こう！  
ながどろ生き物みつけ隊 第1弾 初夏

専門家と一緒に、モリアオガエルのたまごや水辺の生き物を観察します

6月20日 土 午前9時30分～正午 (参加無料)

申込締切6月12日 金



参加申込フォーム

ながどろひろば (長泥字長泥 815-1)  
定員 20名 (小学生以下は保護者同伴)  
現地集合または送迎バス (福島駅西口集合 8時 20分)  
詳細は環境再生プラザ HP「イベント情報」で  
申込は右上の QR コード (参加申込フォーム) から

問 環境再生プラザ (環境省) ☎024-529-5668

申込 福島交通観光株式会社 ☎024-531-8953

〈編集後記〉

田植えの取材にうかが

いお米や野菜が育ちますように。(巻野)

う中で、今年はいろいろな天気の子の様子を見ることができました。朝霧が立ち込める中、しとしと雨が降る中、晴れ渡る青空の中など、様々な状況の中、雨にも負けず風にも負けず一生懸命に作業を行う農家の方々の姿をみて、改めて農業の大変さと担い手の皆様への敬意を感じました。皆様の努力が実り、おしい願った5月でした。(星)

農の取り組みもイベントも盛りだくさん！その力強さや目を見張るにぎわいに、たくさんの元気をもらいました。それなのに広報の紙面づくりは追いつかず最後までバタバタ…。皆さんのやさしさ、ご協力に助けていただき何とか校了できました。タイムリープか自身の能力がほしいと本気で願った5月でした。(星)